

福祉と防災のDXを 暮らしの視点から考える

現場のリアルと試行錯誤の現在地を語り合うシンポジウム

2026年03月03日 (火) 13:30-15:30

かまいしみんなの家・かだって +Zoomによるオンラインのハイブリッド開催



福祉の課題



デジタルの壁



防災の視点



地域の繋がり

プログラム



1. 事業の背景と、これまでの取組

- なぜ、福祉と防災のDXに取り組んできたのか
本事業に込めた思いと3年間で行ってきた取組を整理します。

2. 取組の中で見えてきた現実

- 現場で直面した課題と、うまくいかなかったこと
アンケートや実践を通して見えてきた「スタートライン以前の壁」を共有します。

3. 地域課題への向き合い方とトライアル

- 課題をどう捉え、どんな試みを行っているのか
福祉・防災・地域をめぐる課題に対し現在進行形で行っているトライアルを紹介します。

4. 連携によって見えてきた可能性

- 福祉・防災・デジタルをつなぐ視点
分野を横断することでどんな可能性が見え始めているのかを考えます。

主催

特定非営利活動法人アットマークリアスNPOサポートセンター

答えを出す場じゃない。ここから未来を考えよう。

プログラム1

事業の背景と、これまでの取組

—なぜ、福祉と防災のDXに取り組んできたのか

本シンポジウムは、単なるDX推進やツール導入を目的としたものではありません。地域の暮らしの中で、福祉や防災がどのように受け取られ、どこで行き詰まっているのか。その問い合わせから、3年間にわたる取組が始まりました。

ここでは、年賀寄付金事業の背景とともに、これまでに行ってき取組と、その中で見えてきた成果・未達を整理します。

プログラム3

地域課題への向き合い方とトライアル

—課題をどう捉え、どんな試みを行っているのか

見えてきた課題に対し、すぐに「正解」を出すのではなく、小さな実験やトライアルを重ねてきました。

福祉マップづくり、地域内SNS、移動・交通、防災・見守りの試みなど、現在進行形で取り組んでいる内容を紹介します。

プログラム2

取組の中で見えてきた現実

—現場で直面した課題と、スタートライン以前の壁

アンケート調査や現場での関わりを通じて「情報が届いていない」

「制度が分かりにくい」「デジタル以前の段階でつまずいている」といった現実が浮かび上がってきた。

このパートでは、福祉・介護、防災、デジタルをめぐる現状を評価や批判ではなく「事実」として共有します。

プログラム4

連携によって見えてきた可能性

—福祉・防災・デジタルをつなぐ視点

福祉、防災、デジタルは、それぞれ単独では限界があります。分野を横断して考えることで、これまで見えなかった可能性や新たな問い合わせが生まれつつあります。

最後に、これまでの議論を踏まえ「ここから何を考え続ける必要があるのか」を整理します。

プログラム登壇者



アットマーク
リアスNPOサポートセンター
鹿野順一



SMARTふくしラボ
小柴徳明



アットマーク
リアスNPOサポートセンター
横澤京子



陸前高田
まちづくり協働センター
黄川田美和



いわて連携復興センター
新田真理子

参加申込書

お名前（フリガナ）		
ご所属（会社名、団体名） ※個人の方は、記入無しで結構です。		
電話番号 ※緊急時連絡が取れる番号		
メールアドレス		
参加方法 ※スペースの都合で会場参加は定員10名となります	<input type="checkbox"/> 会場参加	<input type="checkbox"/> オンライン参加

是非!!
ご参加下さい

オンラインでの申込みはこちらから

《Microsoft Forms 申し込みページ》

<https://forms.office.com/r/WB4B00N3aa>



Microsoft
Forms

@RIAS
NPO Support Center

お問い合わせ

特定非営利活動法人@リアスNPOサポートセンター
〒026-0021 釜石市只越町1-3-2 TEL: 0193-27-8400
<https://rias-iwate.net/> Mail:info@rias-iwate.net

